

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.132

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年2月28日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

📷 @hagi_geopark



年に1度の「萩ジオパーク」を楽しむ祭典! 「萩ジオパークフェア2026」を開催

今年は会場全体が研究所（ラボ）に大変身します。お客様は一日研究員となって3つの実験室を巡っていただきます。火山の実験をしたり、味のちがいを調べたりして、大地と人のあるヒミツを自分で試して、考えて、探ったりして、楽しんでいただける内容となっています。また、「萩・明倫学舎の文化祭2026」も同時開催されます。ぜひご来場ください。



※詳細については、
萩ジオパーク推進
協議会HPをご覧
ください。



◆日時：3月1日（日）午前10時～午後4時

◆場所：萩・明倫学舎（萩市江向602）

◆内容：①「大地の成り立ち実験室」～足もとの大地はどうできた？～
火山ふん火実験、ミニチュア河川実験など

②「食と大地の実験室」～食と大地の“つながり”を見つけよう～
コーヒー・紅茶飲みくらべ実験、海藻ダシの抽出実験など

③「暮らしと大地の実験室」～大地に合った暮らしの“知恵”とは？～
和紙の再生実験、藍染め実験など

④クイズラリー「半田君からの挑戦状」

萩ジオパークのキャラクター“半田くん”が、クイズを出題。

会場に散りばめられたチェックポイントをめぐって問題を解こう



※予約不要

奥萩地域特産品フェア出展

1月25日、萩市明木の旭マルチメディアセンターで開催された「奥萩地域特産品フェア」に初めて出展しました。本フェアは特産品の販売に加え、小学生による発表会などのステージイベントも行われ、地域の方々が多く集う交流の場となっています。

当日は、軟水と硬水で淹れた紅茶の飲みくらべ体験を実施しました。身近な「水」の違いから大地の特徴へと関心を広げてもらうプログラムで、多くの来場者にご参加いただきました。

また、萩ジオパーク活動補助金を活用して活動されている遠谷terraにもお声がけし、取り組みの紹介を行いました。遠谷terraは萩市川上地域で、土地に合った産業や暮らしを見直す実践として、かつての特産品であった藍の生産復活に挑戦しています。当日は藍の実物展示も行われ、大地と地域文化のつながりを感じる場となりました。

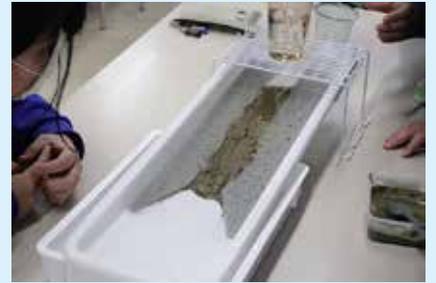


須佐中学校・藻場再生に関する講演

2月19日、須佐中学校にて全校生徒を対象に講演を行いました。須佐中学校では、地元「海の森をつくる会」の協力のもと、藻場の再生活動に長年取り組まれており、今回はその学習の一環としてお声がけいただいたものです。

講演では、「海は森の恋人」と言われる海と陸の関係に触れながら、とりわけ山と海を結ぶ「川」の役割に注目しました。地形模型のパズルや、新たに開発した川の流れを再現する実験を通して、水の流れが土砂や栄養分をどのように運ぶのかを観察してもらいました。

実験では、川は普段ほとんど物を運ばず、大雨で増水したときに大量の土砂や栄養分を運ぶことを確認しました。須佐地域の豪雨災害の経験にも触れながら、自然の働きをどう捉えるかを考える時間となりました。



『食と大地の研究所』を開催しました

～ 海藻っていつどこに生えてるの？阿武の海藻観察&試食会～

『食と大地の研究所』は食を切り口に“大地と人のつながり”に触れ、大地と向き合うことの大切さを学ぶ体験型講座で、参加者の皆さんが自ら実験・考察などしていただく新企画です。今回は阿武町の花藻を対象に実施しました。

最初に阿武町の漁業者の福本真司さんから、海藻についての定義や種類などの概要をお話いただき、次にフィールドワークで、実際に阿武町の海に生えている海藻を見に行きました。

海藻は深さによって生えている種類が違い、実際に見学に行った場所でも浅い所から、ノリ、アオサ、シオミドロ、ヒジキ、ワカメの順に生えている様子が確認できました。また各自で色々な海藻を採取し、その種類を福本さんに聞いたり図鑑で調べて、どんな種類の海藻が見つかったのかを記録し、最後は採取した海藻をみんなで試食しました。参加者からは、「かぎられた小さな場所にもたくさんの種類の海藻があり、採取できたことに驚いた」や「潮間帯の帯状分布や、海藻の種類など、知らないことが多くあり興味深かった」などの感想をいただきました。

昨今、海の環境変化が問題となっており、萩や阿武の海も例外ではありません。私たちに身近な場所でどのようなことが起きているのか、今後とも引き続き調査を行って行きたいと考えています。



萩ジオパーク推進協議会 令和8年度定期総会を開催

2月12日（木）、萩市役所大会議室にて、令和8年度の萩ジオパーク推進協議会定期総会を開催しました。今回は、次期活動計画を日本ジオパークネットワーク（JGN）へ提出する関係で、例年より早めの開催となりました。まず、令和7年度の事業報告と決算見込みについて事務局から説明があり、現時点での進捗と年度末の見通しについて承認されました。最終的な決算は、監査を経た上で別途整理する予定です。続いて、今後4年間の活動の方向性を示す「萩ジオパーク活動計画（2026-2029年度）」について、これまでの取組や地域の実例を交えながら白井専門員が説明し、承認されました。この計画は年度内にJGNへ提出し、当協議会のHPにも掲載予定です。また、来年度の具体的な取組として、「令和8年度事業計画案・予算案」が示され、こちらも原案通り可決されました。なお、これは議会での議決を前提としており、その結果に応じて必要な調整を行う予定です。

そのほか、100話で連載を終える「がんばれ！半田くん」四コマ漫画を冊子化し、関連施設に設置する方針についても承認されました。これは、元山口大学教授の故・永尾隆志氏のご遺志により市へ寄せられた基金を活用するもので、来年度に仕様や予算を検討し、令和9年度に制作予定です。

議案以外では、来年度に予定されている日本ジオパーク委員会による再認定審査について、準備状況やスケジュールの説明がありました。委員からは基金の趣旨や広報の工夫、これまでの活動の評価、地域の特色に関する質問や意見が寄せられました。

最後に、脇田顧問からは次期計画の先進性、柚洞顧問からは再認定審査への心構え、平田顧問からは地域課題に向き合いながら活力ある活動を続けてほしいとのご講評をいただきました。本総会での承認やご意見等を踏まえ、当協議会は令和8年度も皆さまと共に活動を展開していきますので引き続きよろしくお願いいたします。

ガイド技術&プログラム開発研修

2月7日・8日・21日の3日間、ガイド技術&プログラム開発研修を開催しました。講師には、長年ご指導いただいている一般社団法人をかしやの菊間彰氏をお迎えしました。今年久しぶりに、ガイドの基本に立ち返る「王道」の研修です。

1日目は「体験する日」。先輩ガイドによる既存プログラムを実際に参加者自身が体験しました。知識を説明するのではなく、体験を通して感動や気づきを伝える手法に触れ、「伝わるガイド」とは何かを実感する時間となりました。

2日目と3日目は実践編。笠山椿群生林と須佐地域を舞台に、参加者自らが体験プログラムを企画し、実際に試行しました。現場での試行錯誤や意見交換を通して、新しい発想や工夫が生まれる場面も多く見られました。

体験を通して伝えるというガイドの本質を改めて見つめ直す、充実した研修となりました。



笠山山頂展望台『鶯ノ巣』

椿まつりとコラボした企画を実施しています！

🌸 椿期間限定カフェメニュー

○椿彩(つばきいろ)のハーブティー 600円

○椿のショートブレッド 200円

販売期間：3/22（日）まで

🌸 地元「越ヶ浜」小・中学生がデザインした椿柄のカップシールでドリンク販売

販売期間：3/22（日）まで

※月曜定休 祝日の場合は翌日

ラストオーダー14：30（2月）

15：30（3月）



※詳細については萩ジオパーク
推進協議会HPをご覧ください。





萩ジオアカデミー ～ “海そう” から見る北浦の海の今～ 開催のお知らせ

萩ジオパーク推進協議会では、第一線で活躍されている研究者を講師にお招きして、地球の活動や大地の成り立ちを学ぶ講座「萩ジオアカデミー」を開催しています。

今回のテーマは2月15日に開催した「食と大地の研究所」でも取り上げた「海そう」です。実は今これまではなかった異変が海そうにおきています。山口県における海そう研究の第一人者を迎え、私たちの暮らしを取り巻く海の変化を学びます。また、海岸での海そう観察や海そうの“おしば”づくりも予定しています。

- 【日 時】 3月7日(土) 午後1時30分～5時
【場 所】 阿武町町民センター(阿武町奈古3078-1) 他
【講 師】 村瀬 昇(水産大学校 生物生産学科)
【内 容】 第1部: 講演会「海そうの役割と北浦の藻場について」

🌿 時間: 13:30～14:30

🌿 会場: 阿武町町民センター

🌿 定員: 40名(先着)

- 第2部: フィールド観察・ワーク ①海岸での海そうの観察
②「海そう“おしば”づくり」体験

🌿 時間: 15:00～17:00

🌿 会場: 奈古周辺の海岸、阿武町町民センター

※移動は各自の車で

【参加費】 中学生以上1,000円 小学生以下500円

【定 員】 20名(先着)

※「第2部のみ」のご参加はできません

※天候によってはフィールド観察を見送り、室内ワークのみになる場合があります。

【申込み】 萩ジオパーク推進協議会ホームページ内の申込みフォームから

2月16日(月)～3月3日(火) ※定員に達した場合は受付を終了します。



3月～4月上旬の予定

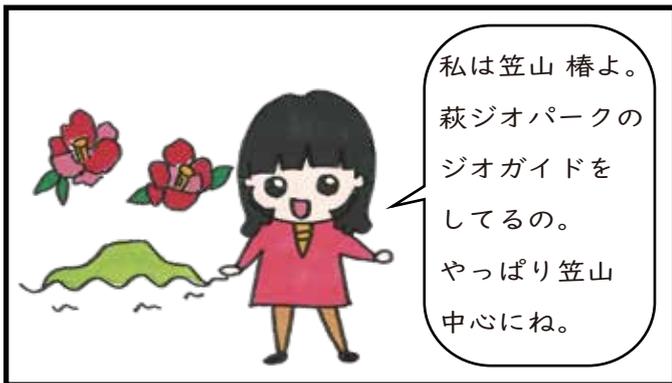
- 萩ジオパーク×萩・椿まつり 2月21日(土)～3月22日(日) 場所: 笠山山頂展望台 内容: 「萩・椿まつり」とのコラボ企画として、限定カフェメニュー、越ヶ浜小中学生デザインの椿柄カップシールでのドリンク販売を実施 主催: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
 - 萩ジオパークフェア2026 3月1日(日) 時間: 10:00～16:00 場所: 萩・明倫学舎 内容: 「萩・明倫学舎の文化祭」とのコラボ行事として、大地の成り立ちや人とのつながりを様々な実験・体験を通じて解き明かす 参加: 予約不要・入場無料(体験によっては有料) 主催・問合せ: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
 - 萩ジオアカデミー～海そうから見る北浦の海の今～ 3月7日(土) 第1部13:30～14:30、第2部15:00～17:00 場所: 阿武町町民センターほか 内容: 藻類学専門の村瀬昇教授(水産大学校)を講師として迎え、海そうを切り口に私達の暮らしを取り巻く海の変化についての講演(第1部)、海そう観察などのフィールド体験(第2部)を実施 参加: 事前申込要(詳細は萩ジオパーク推進協議会HP参照) 主催: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- Ogeoとも(萩ジオ友の会)定例会 3月21日(土) 9:30～16:00 中央公園周辺から萩市内各地を探訪 参加: 会員のみの限定 主催・問合せ: geoとも(中西 080-8747-9383)

がんばれ!半田くん

原作:わっきー教授 画:白玉だんご

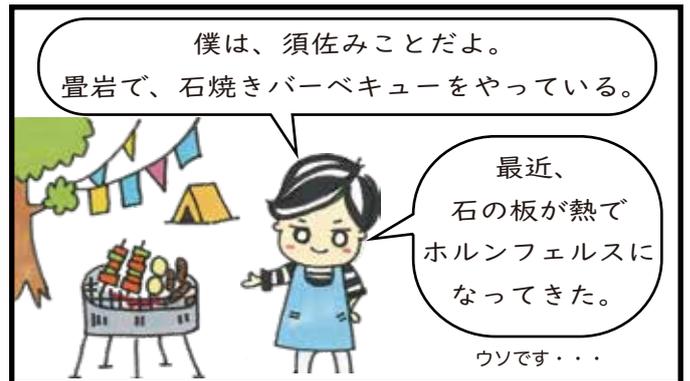
第97話

14年後の半田くんと仲間たち①



第98話

14年後の半田くんと仲間たち②



がんばれ！半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

いよいよ最終回：さよなら！半田くんーそして未来へ

第99話

半田くんの結婚式？卒業式？

2041年3月 半田くんがついに結婚します。



テーブルには宇生賀のお米でできたおにぎりや千石台の大根や小川の桃などジオの恵みが並びました。

ところが、半田くんは結婚指輪を忘れてきたので花嫁さんは、式場から怒って出て行ってしまいました。

石灰岩の半田くんは、涙で溶けてしまいました。



半田くんは、目を覚まして、慌てました。今日は結婚式じゃなくて、小学校の卒業式です。時は2026年3月です。



慌てて、学校まで走って行きました。

こうして、半田くんたちは、美怜小学校を卒業することになりました。いよいよ中学生です。



彼らの未来は、夢の中のようなのでしょうか？

第100話

みんなで萩ジオパークの未来へ



ねえ、僕の夢の中で、怒って出て行ったのは、誰だと思ってる？

わたすは爺さん一筋だからね

わたすは納豆一筋だからね



今度は夢がありませんように

これってハッピーエンド？

もちろん私よ！14年後には指輪忘れないでね♡



ちがいます。ハッピー・スタートです。これから、萩ジオパークの輝かしい未来が始まるのです。半田くんや仲間たちと一緒に！

ながらくご愛読、ありがとうございました。

わっきー教授のつぶやき

四コマ漫画「がんばれ！半田くん」の第97-100話が掲載されました。第1話が掲載されたのが、2019年1月1日です。なんと7年にも及ぶ長期連載です。そして、キリのよい第100話で、大団円を迎えました。ここまで続けてこられたのは、応援して下さった読者の皆様と、萩ジオパークの関係者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

萩ジオパークが日本ジオパークに認定されたのが2018年9月20日ですから、認定とほぼ同時期に連載の準備がスタートしていたこととなります。萩ジオパークとともに成長してきた四コマ漫画「がんばれ！半田くん」は、幕を閉じることになりました。そして、それは『萩ジオパーク』が新しい時代に突入することを示しています。お別れは悲しいですが、新たに発展していく『萩ジオパーク』を想像し、見守っていくことには、とてもワクワクいたします。

「がんばれ！半田くん」の構想は、当時の萩ジオパーク事務局員たちが「萩ジオパークを楽しく知ってもらうために地質を擬人化した漫画でジオパークを紹介しよう」と考え、「萩にも秋吉台と同じ石灰岩があるのに、ほとんどの人が知らないから、石灰岩を主人公に仕立てて漫画にしてはどうだろう？」という提案から始まりました。私は石灰岩も研究対象にしているので、さっそく張り切って脚本をまとめましたが、出てくるのはダジャレばかりで、一向に面白くならなりません。そんな私の脚本を、楽

しい四コマ漫画に仕立てあげて下さったのが、萩ジオパークの『白玉団子』先生(ペンネーム)でした。先生の書くキャラクターはどれも可愛くて魅力たっぷりで、思わず笑ってしまいます。お忙しい仕事の合間に、長年作画して下さったことに、心より感謝申し上げます。また、この7年間、萩ジオパーク事務局もメンバーが変更してまいりましたが、私の行きすぎたダジャレや原稿を上手にアレンジして読みやすい漫画に仕立てて下さいました。歴代の事務局スタッフにも厚く御礼申し上げます。

萩ジオパークは、多くの魅力あるジオサイトに溢れています。「がんばれ！半田くん」では、それぞれのジオサイトに対応したキャラクターが活躍してきました。これからも、萩ジオパークのさまざまなジオサイトを訪れる際や、イベントなどに参加したときには、「がんばれ！半田くん」やそのキャラクターたちを思い出して、微笑んでくださると、うれしいです。

わっきー教授のつぶやきも、四コマ漫画「がんばれ！半田くん」の解説として続けてきたので、こちらが最終回になります。7年間本当にありがとうございました。これからも萩ジオパークの活動を暖かく見守ってください。よろしくお願いします。

令和8年 吉日

わっきー教授

